



赤川ようじの

Vol 4 3 平成 2 6 年 7 月
号

市議会議員

市政レポート

発行 赤川ようじ事務所

〒359-1151 埼玉県所沢市若狭3-2383-25
TEL.04-2947-3967 FAX.04-2947-3966

西武鉄道のために市は82億も負担する

6月議会報告

所沢駅西口西武車輛工場跡地に市が進めてきた区画整理事業がもうすぐ都市計画決定になります。その後この工事を行うための事業の計画が進んでいきます。これまで市が責任もって区画整理事業費約82億円の事業費も責任をもつとされてきましたが、昨今、区画整理事業を地権者が組合を作ってやる組合方式やPFI方式など民間の活力を使って行うことを国も薦めています。それは市だけではなく国も補助金を出さなければならず、その負担が非常に厳しくなっているからです。今回の土地8.5ヘクタール(85000㎡)は現在鉄道用地としてほとんど課税もされていない土地が区画整理後に商業地となる見込みで、その後は西武鉄道が事業を自由に行うことができる訳ですから、市がすべて事業負担する必要はないと思います。西武鉄道は所沢市にとって大切なパートナーですが、もしそうならもっと対等な関係で共同事業を行うべきであると一般質問で訴えました。最終的に市の負担が少しでも少ないようにURなどの施行を視野に入れて検討していくという事になりました。今後もムダな税金の使いみちをしっかりとチェックしていきます。

ごみ減量のために雑紙対策を

皆さんは雑紙(ぎつがみ)という言葉聞いたことがあるでしょうか。雑紙とは燃えるゴミとして捨てられている、紙製の箱(菓子箱やレトルト食品の箱など)・ボール紙・包装紙・紙袋などで、紙箱、などゴミの中で、いつもほとんど燃えるゴミとして捨てられているものです。その雑紙の燃えるゴミの中で占める割合は13%以上ですからかなりの量です。

現在所沢市のゴミのリサイクル率は26%で平成30年までに30%を目指していますが、もしこの雑紙が半分でも資源化できればこの目標は達成できるのです。

ゴミのリサイクル率を上げる事は、新聞紙、雑誌、ダンボールは資源化が進んでいますが、この雑紙についてはまだ周知が不十分であり、議会で「雑紙回収袋」をつくったらどうかと小金井市、安城市のつくっている回収袋を取り上げ提案しました。検討するとのことでした。また拠点回収、集団資源回収など市民も関わっていく必要があります。

ゴミ処理費用は所沢市で年間54億円かかっています。「ゴミは分ければ貴重な資源」ですのでこれからもゴミ減量のための施策を訴えていきます。

自治会等応援条例をつくりました。

地域コミュニティの拠点となってきた自治会、町内会の加入率が昨今減少の傾向が続いています。所沢市の平均加入率は25年度64%で、三ヶ島地区は68%になっています。今回制定された条例は「所沢市地域がつながる元気な自治会等応援条例」という名称で、自治会等活性化を推進するために、地域住民の自治会等への加入及び参加を促すのが目的です。また市及び事業者の役割も明確化しており、具体的には、市は自治会等の組織及び活動を維持するために必要な財政的援助を行うように努めるとされています。またマンション等の共同住宅について不動産業界の協力を得て、入居者に自治会加入を案内すること等が規定されています。

自治会の加入率減少はどこの自治会も悩みの種であり、市がサポートする責任は私も議会で訴えてきたところなので、条例制定は評価しています。今後この条例をどのように活用していくのか、個々の自治会の事情もありますので、きめ細かなサポートが求められています。今後具体的に地元自治会代表の方に市としてどのような支援が必要なのかお伺いして、この条例が役立つ条例になるように活動したいと思います。

市政報告会を開催します。



日時 平成26年7月19日（土）午後3時～

場所 狭山ヶ丘コミュニティセンター学習室

「狭山ヶ丘のまちづくり」他

地元の皆様の意見、要望をお聞かせください。

赤川ようじ 市政ホットライン

お気軽にあなたの市政に対する質問、要望をお寄せください。

TEL.04-2947-3967 FAX.04-2947-3966

E-mail tokorozawa@y-akagawa.jp URL <http://www.y-akagawa.jp>